

経済統計研究 第 41 巻第4号
地域間産業連関表を活かす生産誘発分析への一提案
補足資料:カラーグラフ

宇多 賢治郎¹

『経済統計研究』第 41 巻第 4 号に掲載された論文「地域間産業連関表を活かす生産誘発分析への一提案」のグラフの一部は、白黒印刷では表現しきれしていない、判別が難しいものがある。論文の目的が全国的な傾向を見せることで、個別の変化を重要視しないとはいえ、この表現力の低さは否めない。そこで、一部の図表のカラー版を以下に掲載した。

ぜひ論文と合わせてお読みいただきたい²。

図1 財貿易(特殊分類)の GDP 比と内訳(左:輸出、右:輸入)

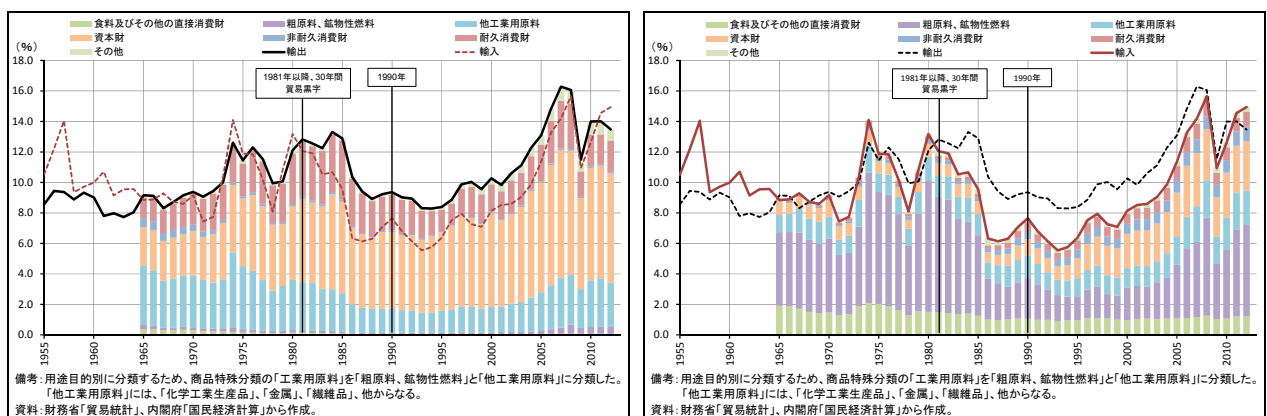
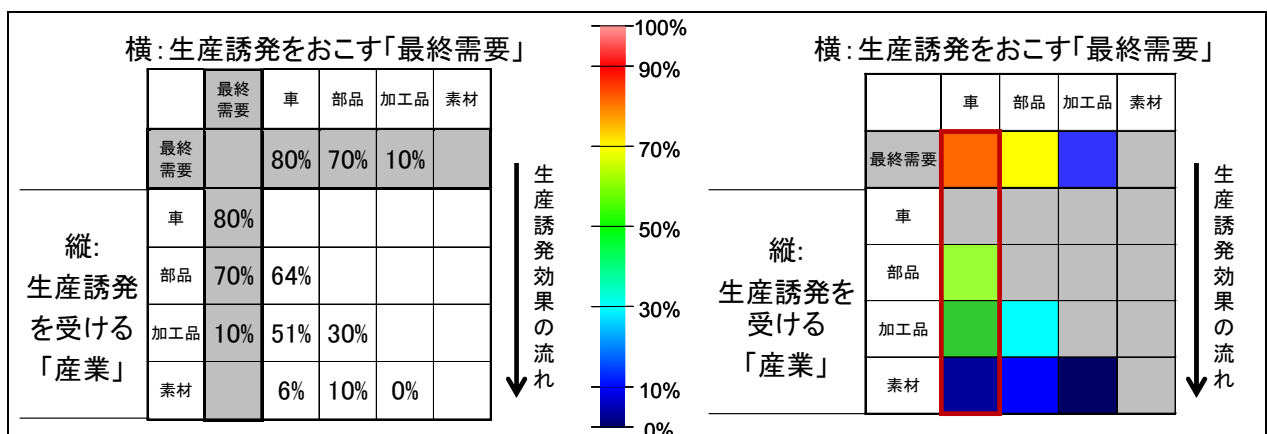


図 6 「残存率」の行とグラフ化の例



¹ 山梨大学(教育人間科学部准教授)、kuda@yamanashi.ac.jp、研究紹介 Web サイト http://www.geocities.jp/kenj_uda/

² 『経済産業統計協会』の Web サイト <http://www.etisa.or.jp/>

図9 「残存率」の推移(地域内表、左:9地域、右6地域)

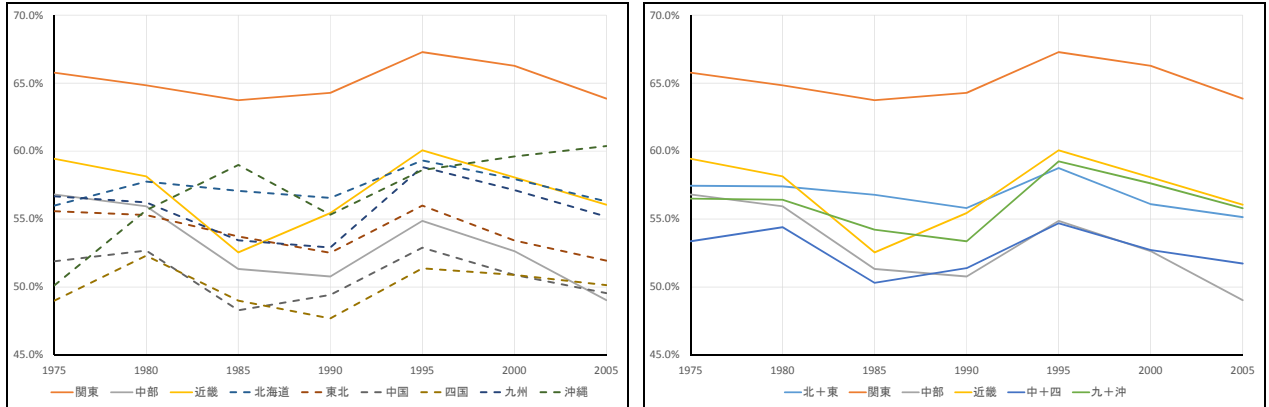


図 10 生産誘発効果の「残存率」(全最終需要、地域間表、上:9地域、下:6地域)

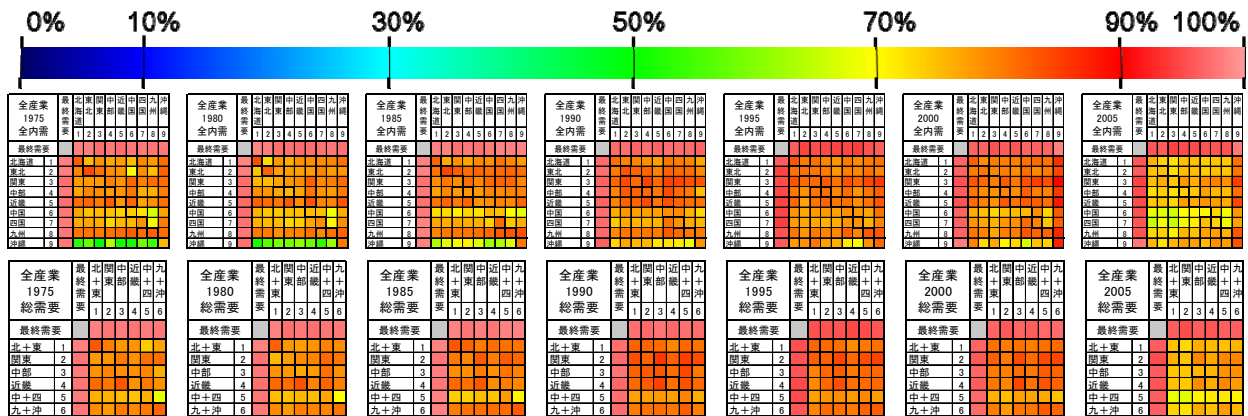


図 11 生産誘発係数の比較(地域内表)

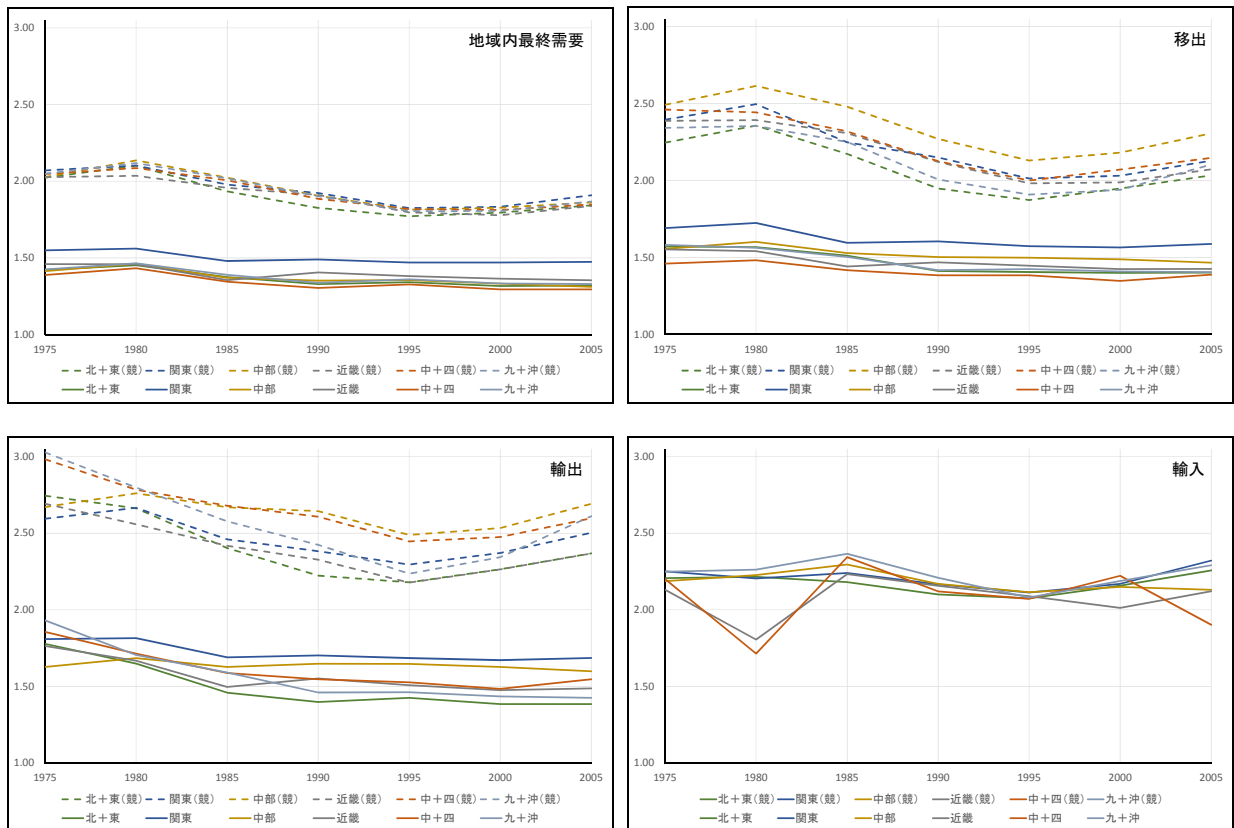


図 12 地域間の生産誘発効果の「残存率」

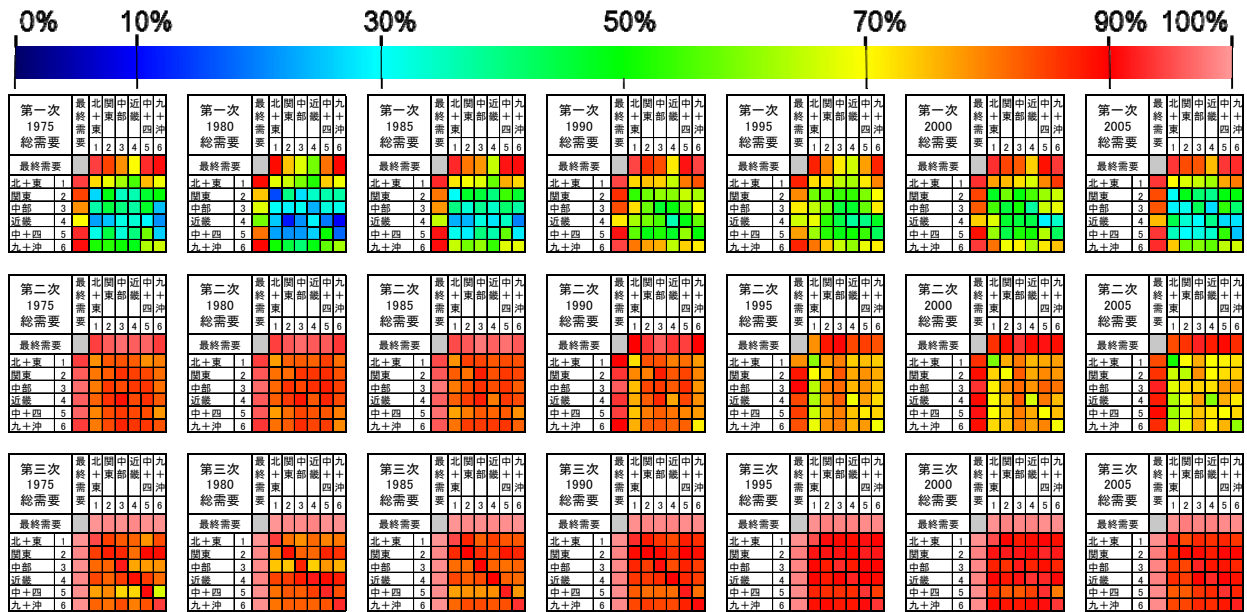


図 13 誘発源別の生産誘発効果(1985 年、地域間表)

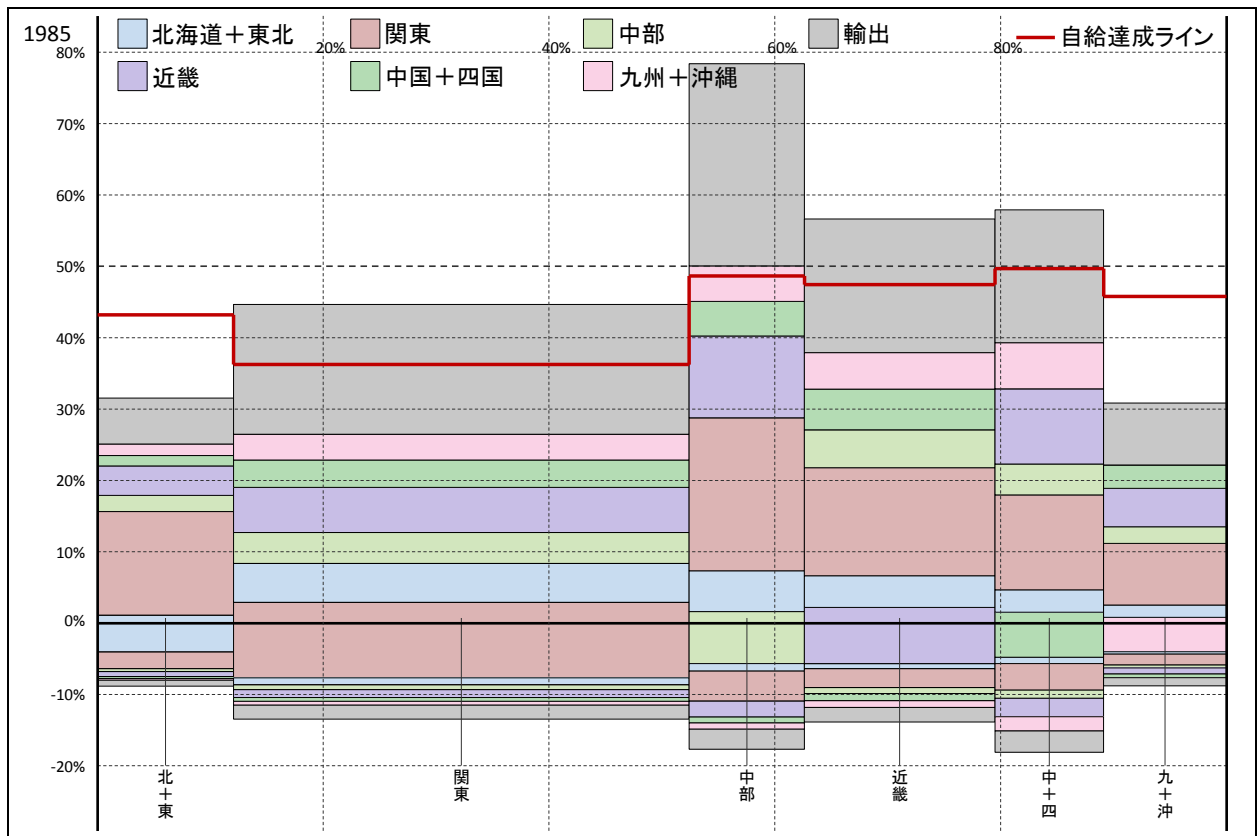


図 14 誘発源別の生産誘発効果(1995 年、地域間表)

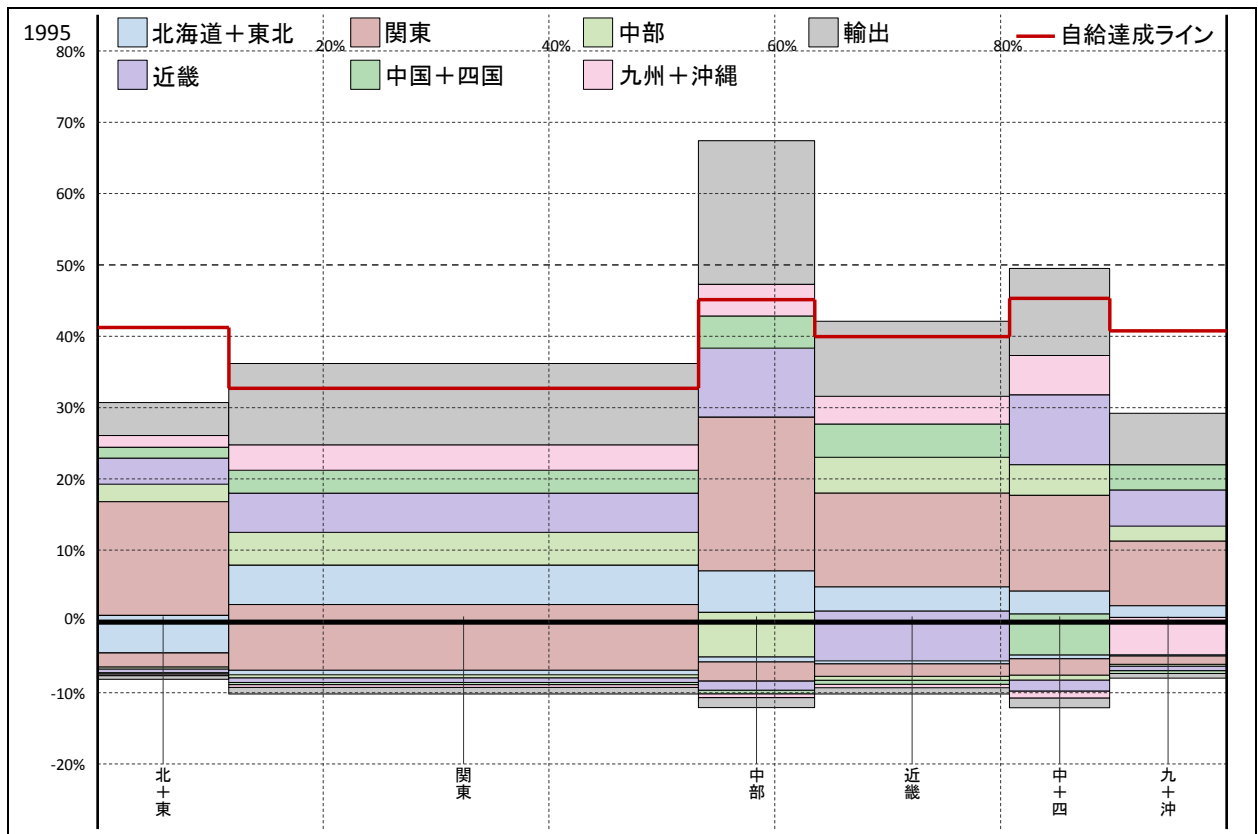


図 15 誘発源別の生産誘発効果(2005 年、地域間表)

